

HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）積極的勧奨再開問題

「接種後に生じた症状に苦しんでいる方に**寄り添った支援**が行われている」
(2021/10/01 厚労省副反応検討部会によるまとめ)



抗議会見

厚生労働記者会・各地被害者オンライン参加



東京訴訟原告 5 番

私の願いはひとつだけです。
再開の前にどうか治療法を開発してください。
書類の上では行政による支援が行き届いているのかもしれませんが、
残念ながら私にその実感はありません。

落合晴香さん（名古屋訴訟原告）

私たちは8年間、ずっと元の体に戻してほしいと訴えてきました。しかし、未だに治療法はなく、訴えはじめてから何も変わっていません。

土岐梨奈さん（東京訴訟原告）

私たちのことは数字として見ていて、消したい数字なんだなって思いました。
私たちは、消される存在なのかなって。

畑原清花さん（九州訴訟原告）

私たちを見ることなく、数値だけを見て判断されるんだと感じました。

平原沙奈さん（東京訴訟原告）

再開と聞くと、私たちの声はやっぱり聞こえていないんだなってというのが第一の思いです。

望月瑠菜さん（東京訴訟原告）

私たちが今辛い思いをしている姿は思い浮かばないのでしょうか。

九州訴訟原告10番

これまでも見捨てられてきましたが、本当に見捨てられたんだなと思いました。

東京訴訟原告15番

協力医療機関はほとんど機能していません。
私は7年継続して受診していますが、全然治っていません。全く変わらない毎日を死んだように生きています。

九州訴訟原告

副反応検討部会という名前なのに、推奨が前提であり、副反応のことが述べられていません。
私たちのことを見捨てないでほしいと、とても思っています。

